

2010年米国国勢調査と在米アジア系人

米国国勢調査とは、10年ごとに、米国市民または非米国市民にかかわらず、米国内の全住民の人口を統計することです。2010年米国国勢調査は非常に重要です。国勢調査データに基づいて、米国下院における州別の議席数が決定され、またあなたの州および地域(コミュニティ)に割り当てられる連邦政府の交付金が決定され、地域企画に有益であります。

在米アジア系人の国勢調査への参加は非常に重要です。2000年国勢調査によると、全米人口 281.4million (2億8140万)の中で、アジア系人口は4.2%を占め、オハイオ州の人口 11.4 million (1140万)の中で、アジア系人口は 1.2%を占めています。また、シンシナティ都市圏の人口 2,009,632の中で、アジア系人口は1.5%を占めています。1990年から2000年の間、全米人口の増加率はわずか13%に対し、全米アジア系人口の増加率は72%です。在米アジア系人口の正確なデータは、アジア系コミュニティの交付金および各種サービス、すなわちヘルス・ケア及び社会サービス、語学スクール、文化活動、平等雇用等に直接影響を与えます。

国勢調査の対象日は2010年4月1日です。3月に各世帯に**2010年国勢調査票** (“Be Counted”とも言われています)が配送されます。いろいろなアジア語の用紙も用意してあります。質問数は10問のみで、わずか10分で完了できます。米国市民または非米国市民にかかわらず、またその法律身分にかかわらず、米国における全住民が対象となります。あなたの回答の内容は法律によって**厳守**されますので絶対安全です。4月から7月の間、調査票を返送しない世帯を国勢調査員が直接訪問します。

もし国勢調査票を受け取れなかった場合は、テレホンアシスタントセンターまでお問い合わせ下さい。お電話番号は、1-866-872-6868です。お問い合わせ時間は、2月25日から7月30日の間、月曜日から日曜日まで、現地時間午前8時から午後9時までとなっています。**言語アシスタント・ガイド**を参考にして、英語版用紙に記入することができます。また、対象日に近付くと、無料電話であなたの母国語の用紙を請求することもできます。これらの用紙は公立図書館やCAM スーパーマーケットで入手することもできます。

米国国勢調査局は、**2010年国勢調査パートタイマー事務員および専門調査員**を採用しています。時給は\$12-\$19で、職種によって異なります。プレースメントテストには、30分程度かかります。これに関する詳細については、www.2010.census.gov をご覧下さい。各アジア語版も用意しております。<http://2010.census.gov/partners/materials/inlanguage.php> と www.asianamericancensus.org/census-2010 をご覧下さい。

国勢調査の正確なデータを得るためには、皆の参加が必要です。そこで、**Asian Community Alliance, Inc. (www.acacinci.org)** (ACA) は地方国勢調査委員会の一員として、グレーターシンシナティエリアで、2010年国勢調査の重要性を宣伝し、我々のコミュニティの皆さんに回答を呼びかけています。一人が参加しないことによって、毎年一人あたり 2,263 ドルの連邦交付金を失うことになります。

ご質問などは、ACA の Jiah Jung (513-680-1349、info@acacinci.org)までご連絡下さい。